休校期間中の学習ワークシート　第６学年　国語⑧「春のいぶき」

名前		取り組んだ日	月　日（　）
動画	なし	教科書	国語六 P.三八・三九

一．二十四節気

教科書の通り、日本では、こよみのうえで季節を二十四に区切っていました。それを、二十四節気といいます。

二．春の二十四節気と意味を二回以上読みます。

薄い字はなぞります。

二十四節気の言葉	時期	意味
立春	二月四日ごろ	こよみのうえで、春が始まる日。まだ寒さはきびしいが、だんだん日がのび、木々が芽ぶいてくる。
雨水	二月一九日ごろ	降る雪が雨に変わり、深く積もった雪も解け始める。このころから、早春の気配が感じられるようになる。
啓蟄	三月六日ごろ	地中で冬眠していた虫がはい出てくるころという意味。春も、もうまもなく本番になるころである。
春分	三月二一日ごろ	昼と夜の長さがほぼ等しくなる。これより後は、昼の時間が長くなっていく。春のひがんの中日である。
清明	四月五日ごろ	気候がしだいに温暖になり、すがすがしく、明るい空気に満ちあふれるころ。
穀雨	四月二十日ごろ	いろいろな穀物をうるおし、芽を出させる春の雨という意味。これを過ぎると、いよいよ夏が近づいてくる。

三．春の短歌、俳句です。薄い字をなぞったら、二回以上読みます。

木立より　雪解のしづく　落つるおと
聞きつつわれは　歩みをとどむ

斎藤茂吉

啓蟄の　虻はや花粉　まみれかな

星野　立子

掘り返す　塊光る　穀雨かな

西山　泊雲

○学習をふり返ります。○をつけましょう。

この学習は、

よくわかった　・　だいたいわかった　・　あまりわからなかった

○学習してわかったこと、もっと考えてみたいことを書きましょう。

休校期間中の学習ワークシート　第6学年　社会⑥「国土3」

名前		取り組んだ日	月　　日(　　)

動画	なし	教科書	小学社会5年生　P28～55

教科書を見ながら、□にあてはまる言葉を書きます。

3　生活環境を守る人々（環境問題）

①青空を取りもどしたまち　P. 48・49

●わたしたちは、森林や海、川、空などの自然とともにくらしている。自然災害にかぎらず、これらの身近な自然環境に□が起きると、わたしたちのくらしに大きなえいきょうがもたらされる。

②公害をなくすために　P. 50・51

●今から60年ほど前、北九州市では、工業生産がさかんになるにつれて環境が悪くなり、ぜんそくに苦しむ人や、いやなにおいになやむ人たちも増えた。このような□をなくすために、人々は様々な取り組みを行った。

●公害に対する住民の運動の高まりと強い願いを受けて、工場と市は公害をふせぐための取り決めを結んだ。

　また、市は、□をつくり、住民の健康や安全を守る

ことに努めるようになった。

③環境都市を目ざして　P. 52・53

●取りもどされたきれいな環境を守るために、北九州市の人々はさまざまな取り組みを続けてきた。

●北九州市の［　　］や、［　　］の取り組みは、世界からも評価されている。

④ごみゼロを目ざして　P. 54・55

●使用ずみになった工業製品を［　　］し、資源として［　　］するための工場が、「北九州エコタウン」に集まっている。

●これからは、いらなくなったものでも簡単にごみにせず、［　　］として使っていくことが大切である。

⑤わたしたちも自然の一部　P. 56・57

●わたしたちのくらしは、身のまわりの自然環境と結びついており、切りはなせないものである。

●日本の工業は、1955（昭和30）年ごろから大きく発展した。この［　　］の時代は、生産を高めることに力が入れられ、地

域の環境や人々の健康を守るという考えは、あまり大切にされなかった。

●そのため、工業のさかんな地域を中心に、各地で［　　］が発生し、多くの人々の命がうばわれた地域もある。

●最近では、日本では公害は少なくなっているが、世界には今も公害が起こっている地域があるので、日本の経験や進歩した［　　］も生かして地球の環境を守っていく必要がある。

○学習をふりかえりましょう。（１つに○をします）

よくわかった　・　だいたいわかった　・　あまりよくわからなかった

○この学習で分かったこと、もっと考えてみたいことを書きましょう。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

こたえ

3　生活環境を守る人々（環境問題）

①青空を取りもどしたまち　P. 48・49

●わたしたちは、森林や海、川、空などの自然とともにくらしている。自然災害にかぎらず、これらの身近な自然環境に［変化］が起きると、わたしたちのくらしに大きなえいきょうがもたらされる。

②公害をなくすために　P. 50・51

●今から60年ほど前、北九州市では、工業生産がさかんになるにつれて環境が悪くなり、ぜんそくに苦しむ人や、いやなにおいになやむ人たちも増えた。このような［公害］をなくすために、人々は様々な取り組みを行った。

●公害に対する住民の運動の高まりと強い願いを受けて、工場と市は公害をふせぐための取り決めを結んだ。

　また、市は、［公害防止条例］をつくり、住民の健康や安全を守ることに努めるようになった。

③環境都市を目ざして　P. 52・53

●取りもどされたきれいな環境を守るために、北九州市の人々はさまざまな取り組みを続けてきた。

●北九州市の［公害防止のあゆみ］や、［国際協力］の取り組みは、世界からも評価されている。

④ごみゼロを目ざして　P. 54・55

●使用済みになった工業製品を［リサイクル］し、資源として［再利用］するための工場が、「北九州エコタウン」に集まっている。

●これからは、いらなくなったものでも簡単にごみにせず、［資源］として使っていくことが大切である。

⑤わたしたちも自然の一部　P. 56・57

●わたしたちのくらしは、身のまわりの自然環境と結びついており、切りはなせないものである。

●日本の工業は、1955（昭和30）年ごろから大きく発展した。この［高度経済成長］の時代は、生産を高めることに力が入れられ、地域の環境や人々の健康を守るという考えは、あまり大切にされなかった。

●そのため、工業のさかんな地域を中心に、各地で［公害］が発生し、多くの人々の命がうばわれた地域もある。

●最近では、日本では公害は少なくなっているが、世界には今も公害が起こっている地域があるので、日本の経験や進歩した［技術］も生かして地球の環境を守っていく必要がある。

休業期間中の学習ワークシート　第６学年　算数⑨「対称な図形４」

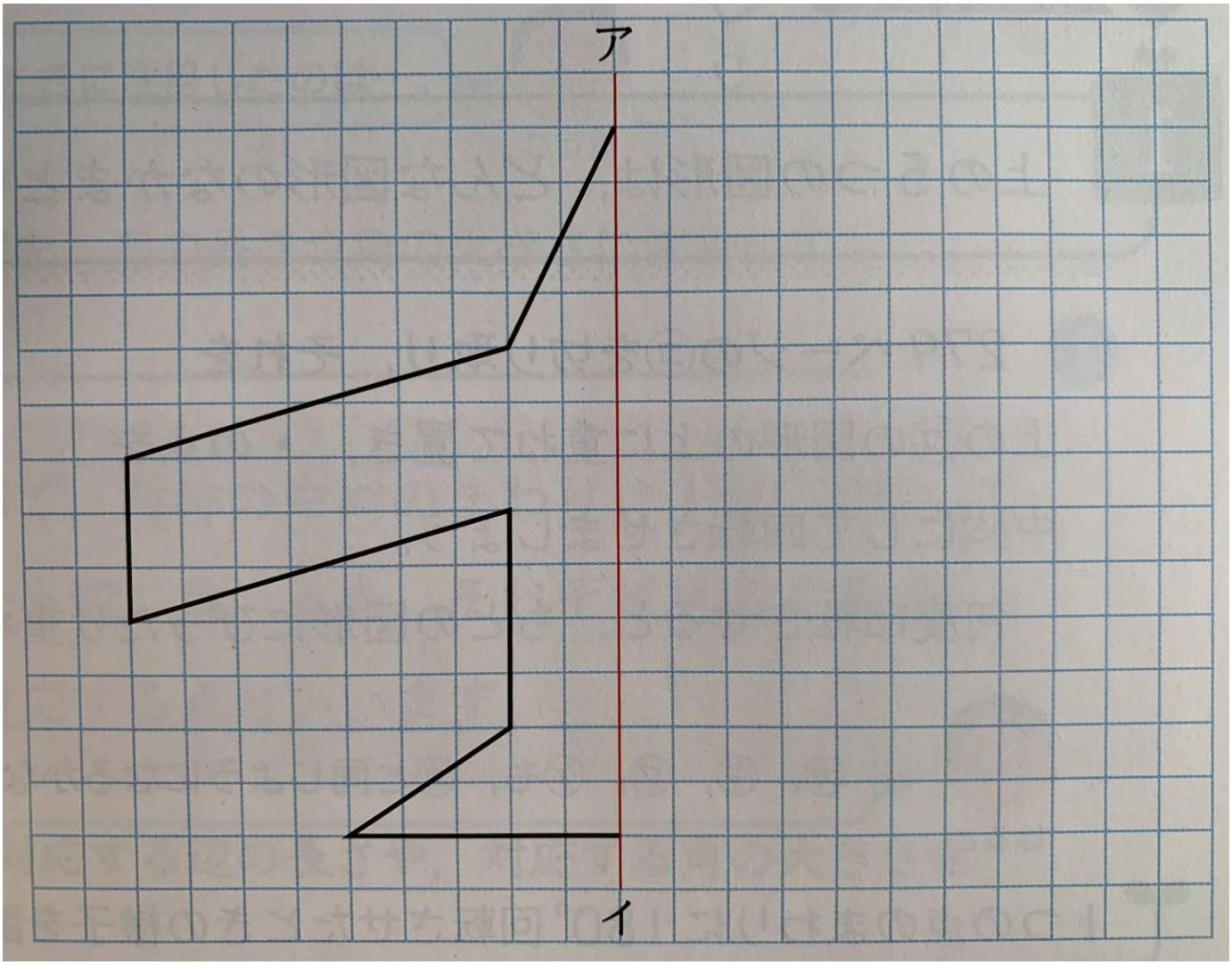
名前		取り組んだ日	月　　日（　　）

動画	小学校６年生 算数１_対称な図形２（参考）	教科書	新しい算数６　P.9～13

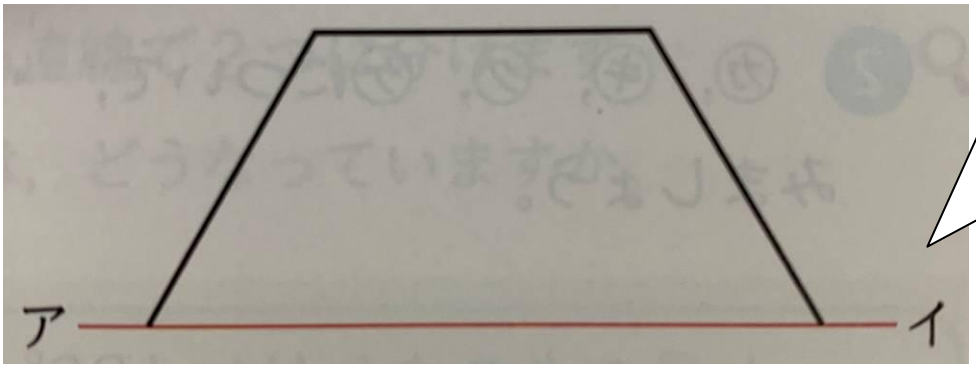
P.13

４ 線対称な図形をかきましょう。

①下の図で、直線アイが対象の軸になるように、線対称な図形をかきます。



③ 直線アイが対象の軸になるように、線対称な図形をかきましょう。
また、できた図形の名前は何ですか。



マスがないときは少し難しい…
そんなときは、まず
① 三角定規で対称の軸まで垂直な線を引く。
② その線を対称の軸の反対側までのばしていく。
③ コンパスで頂点から対称の軸までの長さを図り取って、反対にしるしをつける。
④ しるしをつけたところが頂点。
⑤ 定規で結べば完成。

図形の名前

④ 下の方眼ノートに対称の軸をかいて、いろいろな線対称な図形をかきます。（教科書の例をまねしてもよい）

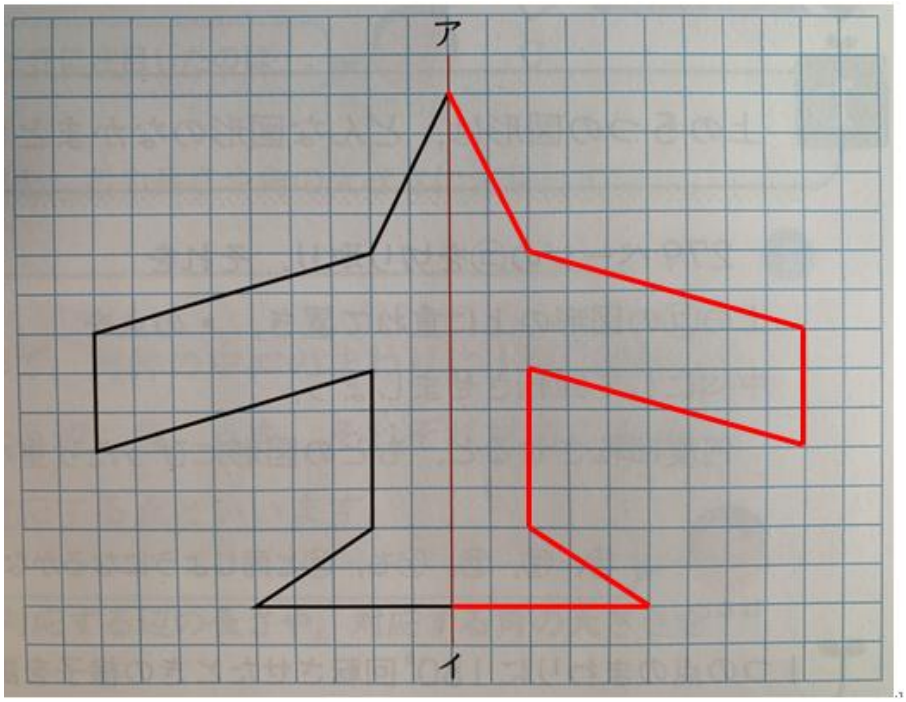
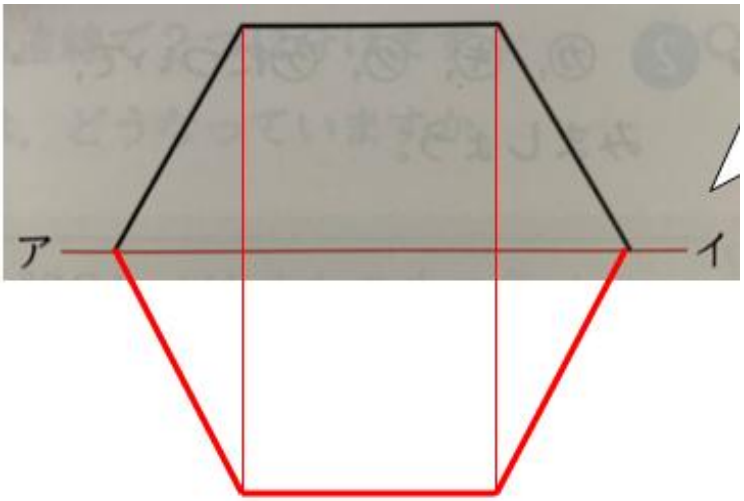
〇学習をふり返りましょう。（１つに〇をする。）

よくわかった　・　だいたいわかった　・　あまりわからなかった

〇学習して分かったこと、楽しかったこと、もっと考えてみたいことを書きましょう。

こたえ

4 ①



3 図形の名前　六角形